



創設する予定で現在、作業を進めています。
花いっぱいのもちづくり、森に親しむ山づくり、さくらの並木道づくりなど、自治会での自主的なまちづくり活動や、創造的で地域活性化につながる事業を支援していきたいと考えていますので、ご利用ください。

谷村地区の再開発を

Q

谷 村本町は、ドーナツ化現象で人口が激減し、さびしい街並みとなっています。谷村地区の再開発をお願いします。

A

三 町商店街にリーディングモデル創出事業という補助事業を取り入れ、カラー舗装や憩いの場を設けたり、駐車場整備対策を行うなど消費者ニーズに対応した商店街づくりに取り組んでいます。

今後、このような施策を各商店街が市と協調し合う中で積極的に取り入れていくことで、やがて理想的なまちづくりができ、人口の増加にもつながるものと確信しています。



ミュージアム都留の利用率アップを

Q

ミ ユージアム都留の利用者が少ないようですが、もっと利用度をあげるようなことを考えていただきたい。

A

オ ーブン記念展には、二千七百人の入場者がありその後に開催した「米山朴庵展」「土器とくらし展」「藤井霞郷展」「川合玉堂展」にもまずまずの入場者がありました。ただ、平日は数十人という時もあり、これを増やしていくことが大きな課題です。
昨年の十二月八日から開催しています「思い出の二十世紀展」は、非常に好評でたくさんの方々が訪

れ感動をよんでいます。
今後も魅力ある特別展・企画展を開催し、多くの皆さんに都留市の歴史や文化を紹介していきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

市民と学生の共存

Q

都 留市には全国にも珍しい市立の大学があります。
市民と学生がもっと身近に感じられるような施策を進めていただきたい。

A

都 留市が都留市らしさを出すまちづくりの一つとして、教育首都構想があります。その中心となるのが都留文科大学だと考えています。

昨年は、田野倉にある専門学校を整備拡充と産業短期大学の併設を要望するなど、学園のまちとしてふさわしい基盤づくりを推進していくためのアプローチをし、さらに、もう一つぐらい専門学校を誘致できればとも思います。

また、国際交流も一つの生き方だと考えています。現在、カリフォルニア大学と中国の湖南師範大学との交換留学を行っています

が、留学生はもちろん市民と文大生との交流も盛んになってきています。
昨年は、「都留市の地域づくり・まちづくりを考える」をテーマに市民と学生が対話したり、「三万五千人と共に生きる大学」と題した公開座談会を開催したりと、市民と学生の距離を少しでも縮めようとお互いが努力しているところではあります。

火葬場の建設は？

Q

市 営火葬場の計画はどこまで進んでいるのか。また、他市町村ではセレモニーホールがありますが、併せて建設することはできないのでしょうか。

A

火 葬場はセレモニーホールを含めて、現在地につくるべきか広域化の中でつくるべきか検討していますので、しばらくお待ちください。

なお、当面は現在の待合室を使いやすく改修したり、近くに駐車場を確保して皆さんに不便をかけないような対策を講じていきますのでご理解ください。